

授業科目(ナンバリング)	総合演習Ⅱ (NH502)			担当教員	薬学科専任教員 (責任者: 藤田英明)		
展開方法	演習	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	5年・通年	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
実務実習(病院・薬局)終了後に開講される「総合演習Ⅱ」では、医療現場で薬剤師業務を一通り体験した上で、体系的に行われる演習により、薬剤師の職能に必要な各専門分野における基礎的知識や技能に関する事柄を整理する。また、保険薬局、製薬会社、医薬品卸売会社への訪問研修により、医薬品の製造、品質管理、流通の仕組み等について理解を深める。これらの演習と訪問研修を通して、医療現場における理解力・判断力・問題解決能力を醸成し、質の高い薬剤師になるための動機付けをすることが本授業のねらいである。							①⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法			評価比率
専門力	薬剤師業務の実践に必要な各専門分野の基礎的知識の修得に向けて意欲的に学修できる。			週間試験 単位認定試験			15% 75%
情報収集、分析力	医薬品流通(製薬会社及び卸売業)に関する情報を的確に収集し、後発医薬品の利点と問題点について分析できる。			見学・研修に関するレポート			5%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	これからの地域医療における保険調剤薬局の多様性について、外部ステークホルダーと議論できる。			見学・研修における議論への参加			5%
出 席							受験要件
合 計							100%
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
随時試験として実施する総合演習Ⅱ単位認定試験(4回、追試験あり、再試験なし)および週間試験の結果、ならびに製薬会社、医薬品卸売会社、調剤薬局の施設訪問研修に関するレポートを総合的に評価して単位認定を行う。なお、レポートの評価は、外部ステークホルダーに一任する場合がある。各回の試験成績、レポート評価はポートフォリオ等でフィードバックする。							
授業の概要							
授業は、必須問題・理論問題に加え、実践的・応用的な問題の演習と、その内容に関する詳細な解説を中心に進める。また、医薬品の品質管理や流通の仕組みについて、より理解を深めるために、製薬会社、医薬品卸売会社及び調剤薬局の施設訪問研修を実施する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。							
教科書・参考書							
教科書: 別に指示する。 参考書: 別に指示する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>「平成25年度改訂版 薬学教育モデル・コアカリキュラム」の内容(一般目標・到達目標)の総復習を徹底してほしい。到達目標は、巻末のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照すること。演習や施設訪問研修には積極的な態度で臨むとともに、演習内容の復習を確実に行ってほしい。研修中や演習中、演習後の質問は大いに歓迎する。なお、研修は、「寄附講座」を担当する外部ステークホルダーが中心となって行われるため、身だしなみと言動には注意すること。自己学修では、参考書、問題集を有効に活用し、ノートに要点を書き写すなどして、繰り返し復習すること。</p> <p>※本演習はオムニバス方式であるため、オフィスアワーは、各教員に直接問い合わせること。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	薬理 1	薬理学(薬理作用、作用機序) (臨床基盤系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
2	薬理 2	薬理学(薬理作用、作用機序) (臨床基盤系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
3	薬理 3	薬理学(薬理作用、作用機序) (臨床基盤系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
4	薬剤 1	薬剤学、製剤学、薬物動態学 (臨床基盤系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
5	薬剤 2	薬剤学、製剤学、薬物動態学 (臨床基盤系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
6	病態・薬物治療 1	病態・疾病学、臨床検査学、薬物治療学 (臨床基盤系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
7	病態・薬物治療 2	病態・疾病学、臨床検査学、薬物治療学 (臨床基盤系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
8	法規・制度・倫理	関係法規、保険制度、医療倫理学 (臨床実務系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
9	実務 1	薬剤師の業務に関する基礎的及び実践的な知識・技能・態度に関する事項 (臨床実務系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
10	実務 2	薬剤師の業務に関する基礎的及び実践的な知識・技能・態度に関する事項 (臨床実務系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
11	実務 3	薬剤師の業務に関する基礎的及び実践的な知識・技能・態度に関する事項 (臨床実務系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
12	物理 1	物理化学、分析化学、放射線化学 (物理系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
13	物理 2	物理化学、分析化学、放射線化学 (物理系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
14	化学 1	有機化学、無機化学、医薬品化学、生薬学 (化学系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
15	化学 2	有機化学、無機化学、医薬品化学、生薬学 (化学系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
16	生物 1	機能形態学、細胞生物学、生化学 (生物系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
17	生物 2	免疫学、分子生物学、微生物学 (生物系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
18	衛生 1	衛生化学、栄養化学、毒性学(毒物動態含む)、環境微生物学、衛生関係法規 (衛生系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
19	衛生 2	衛生化学、栄養化学、毒性学(毒物動態含む)、環境微生物学、衛生関係法規 (衛生系教員)	教科書・配布プリントの内容確認
20	製薬工場研修 (寄附講座*1)	・医薬品の安全性 ・後発医薬品メーカーとしての品質管理及び製造工程 (佐藤、藤井)	配布プリントの内容確認
21	医薬品卸売企業研修 1 (寄附講座*2)	・適正な医薬品流通の仕組み ・製造業者から医療現場への迅速な医薬品供給 ・法的規制薬(麻薬・向精神薬等)の薬剤管理 (佐藤、藤井)	配布プリントの内容確認
22	医薬品卸売企業研修 2 (寄附講座*2)	・「育薬」の仕組み ・臨床現場からの情報による新知見・薬効提供 ・DI 業務 (佐藤、藤井)	配布プリントの内容確認
23	調剤薬局研修 (寄附講座*3)	・薬局における最新調剤設備による過誤防止の取り組み (佐藤、藤井)	配布プリントの内容確認
24	単位認定試験	期間中実施する 4 回の総合試験	

注) No. 1-24 は授業の概要を示したもので、講義の順番は変更されることがあります。

*1 東七株式会社、沢井製薬株式会社 *2 東七株式会社 *3 東ファーマシー株式会社

<物理系教員>市川、大庭、高井、榎本、吉田、中村 <化学系教員>佐々木、山口(泰)、淀、宇都、山田、太田(智)、田中(啓)、大神 <生物系教員>岸原、黒川、深澤、藤田、田中(宏)、石原、藤井、藤木、藤本、松下 <衛生系教員>小川、小林、佐藤、長岡、相田、出口、倉岡 <臨床基盤系教員>梶島、隈、西奥、山口(拓)、太田(一)、神谷、高崎、縄田、福森、波多江 <臨床実務系教員>大磯、早川、室、神田、大久保、末廣、中島